

令和 元年度全国小中学校防災作文コンクール最優秀作品（中学校の部）

自分の命を守るために

葛巻町立葛巻中学校 一年 田澤 和珠

私は田老地区での「学ぶ防災」体験プログラムを通して震災・防災について多くのことを学び、考えることができました。

私の住んでいる町は内陸で地震が起きても津波が来ることはありません。津波をテレビや動画で見る以外の経験がないため津波は怖いものだとは分かっていても実際の恐ろしさを知りませんでした。でも、「学ぶ防災」体験プログラムに参加し津波で破壊された防潮堤、津波水位標記、三階まで波が来た跡が残るたろう観光ホテルなどを見学して、自分が想像しているよりずっと津波が恐ろしいものだと感じることができました。そして、地震や津波などのいつ起きるか分からない災害から身を守るためには、普段の生活から防災意識を持つことが大切だと考えることができました。

例えば、避難する時にスムーズに行動できるように家に家のろう下に余計な物を置かない、

令和 元年度全国小中学校防災作文コンクール最優秀作品（中学校の部）

いつでも避難できるように準備をしておく、
ハザードマップで身の周りの危険を確認して
おくなど、自分の身を守るために一人一人が
防災の意識を持ち、災害がいつ起きても自分
の身を守ることができるよう準備することが
大切だと感じました。そのためには、私達が
参加した「学ぶ防災」体験プログラムのよう
に、過去に起きた恐ろしい災害を知らない世
代の人達や、私のように実際の恐ろしさを知
らない人達に、その災害の恐ろしさを伝えて
いくことが大切だと思います。そうすれば、
全体の防災意識が高まり、防災の知識が増え、
同じような災害が起きたりしても、犠牲者を
少なくすることができると思います。

私は、このような災害を改めて学ぶことが
できて、今までより防災への意識が高まった
と思います。これからも安全に生活していく
ために、ハザードマップで自分の住んでいる
場所はどのような危険があるのか、いつ何が
あっても避難しやすいかなどを、普段の生活

令和 元年度全国小中学校防災作文コンクール最優秀作品（中学校の部）

から確認したり、考えたり、過去の災害を聞いたり、学んだりしたいと思います。また、もし災害が起きても、「あの時は何もなかったから避難しなくても大丈夫。」などと思わず、自分の命を守るために、危機感を持ち、安全なところに避難したり、何があってもいように備えたいと思います。